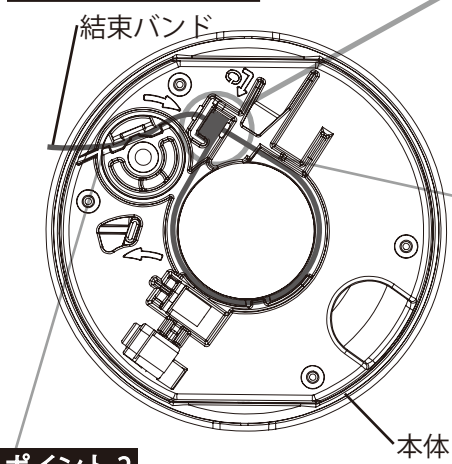


A-9

別紙の写真参照



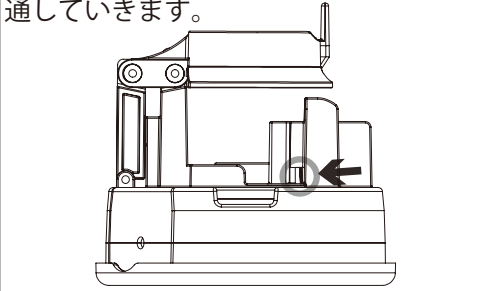
ポイント 2

ドラム B に結束バンドを通す時は、ドラム上部から強く押し込む形でセットします。結束バンドが浅くならないように、底に着くまで押し込んでください。

- ⑤ 円で囲んだ部分に結束バンドの頭の部分をはめ込みます。次に、本体の円に沿って左図の — のように、結束バンドを通していきます。※ポイント 1、2 を参考にしてください。

ポイント 1

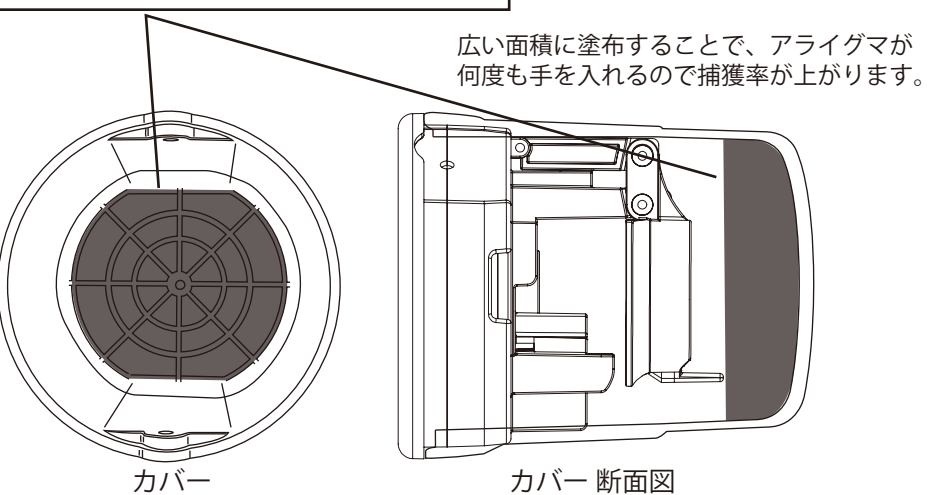
下図のように本体側面から見ると結束バンドを通す穴が開いているので、ここに通します。この時に結束バンドの穴にも通していきます。



B-1

- ② ピーナツクリームの取り付け方
カバー内部の側面と天面に塗布していきます。

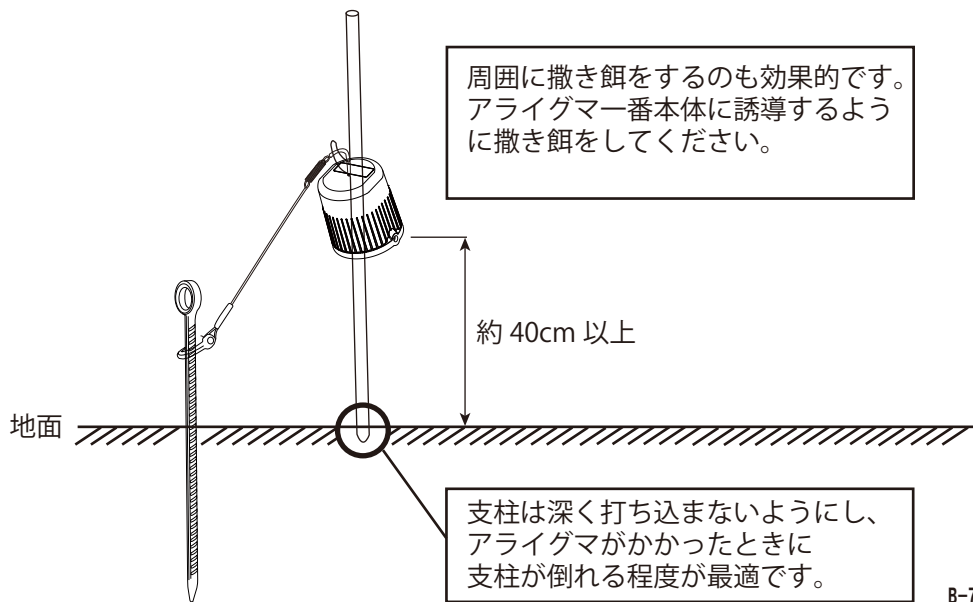
下図の ■■■■ 部分に塗布してください。



ここまでで餌の取り付けは完了です。カバーと本体をネジで固定してください。
※カバーと本体には向きがあります。カバー側面のスリット面と本体の C 面を合わせてください。

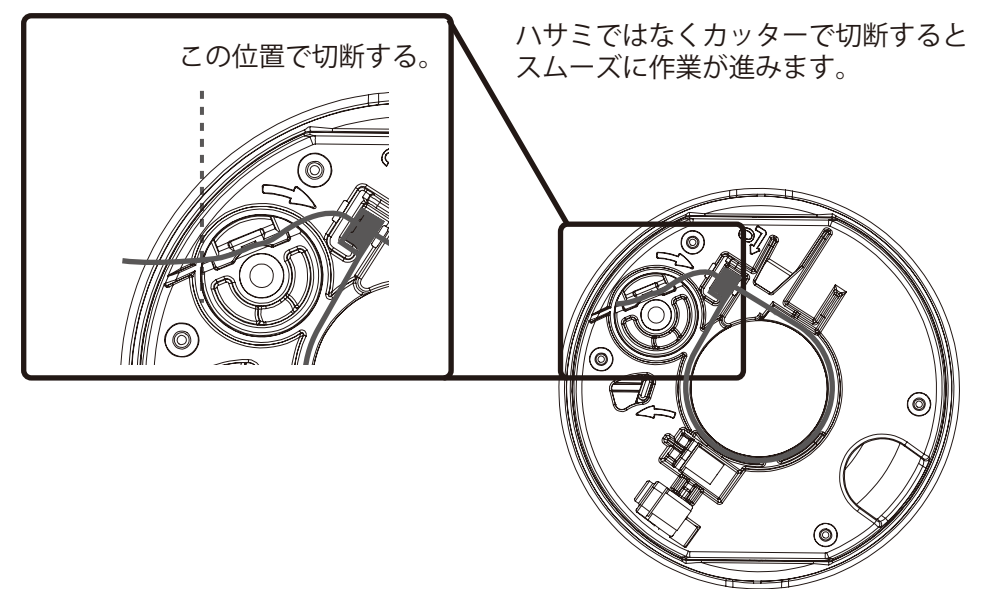
B-4

- ② 他の動物がかからないようにするために、アライグマ一番を支柱（木の枝など）で地面から 40cm 以上上げた位置に設置してください。



B-7

- ⑥ 結束バンドの余分な部分を切断してください。このとき、切断する位置が悪いと正常に動作しない場合があります。



ここまでで本体内部のセットは完了です。

B-2

被害現場への設置

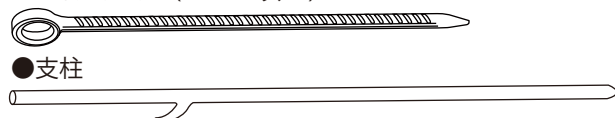
◆設置場所の選び方

アライグマが通過している獣道、巣、被害がでている現場に設置します。水辺や川沿いは特に多く、新しい足跡を探して設置すると捕獲率が上がります。
※一般の人が通る場所には設置しないでください。
設置には金属製の杭を使用するため、地盤がしっかりとした抜けにくい場所に設置してください。
周囲 3 メートル以内にアライグマが掴まる物がない場所に設置してください。本器にかかったアライグマが逃げる原因になります。

◆ご用意していただくもの

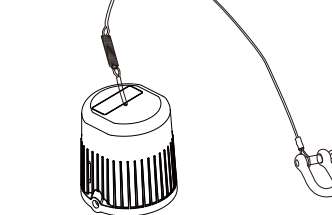
- ・アライグマ一番（セットと餌の取り付けが完了している物）
- ・金属製の杭（90cm 以上） 本器には付属しておりません。別途ご購入ください。
- ・支柱 木の枝などでも可
- ・ハンマー
- ・六角レンチ（付属のもの）

●金属製の杭（90cm 以上）



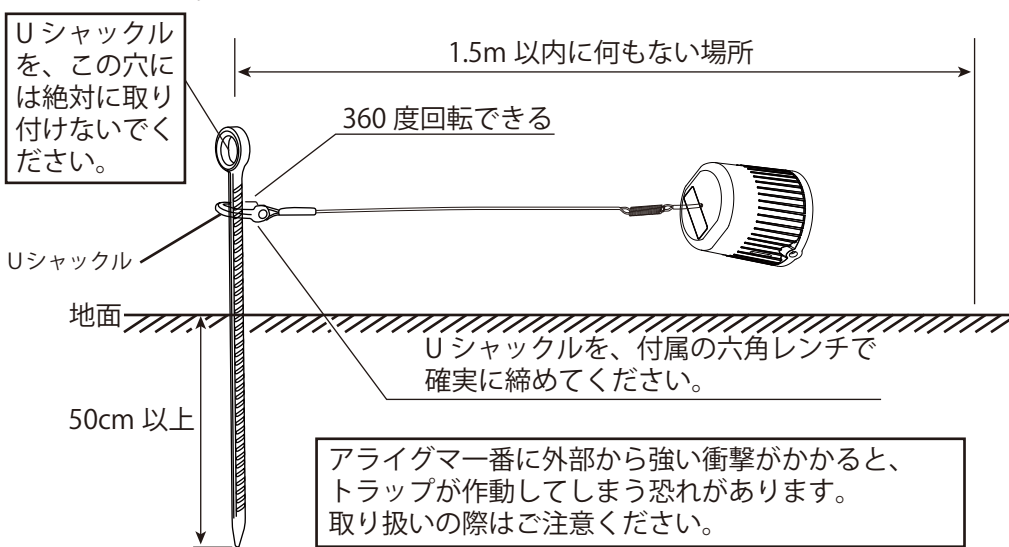
●支柱

●アライグマ一番



B-5

- ① 地盤がしっかりとしている杭が抜けにくい場所に杭をハンマーでしっかり打ち込んでください。打ち込む深さは約 50cm が目安です。また、この杭から半径 1.5m 以内にアライグマが掴まる物がない場所に設置してください。



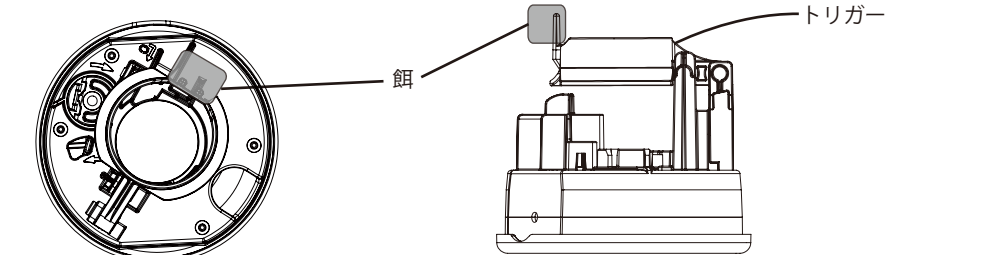
B-6

餌の取り付け方

ピーナツクリームとマシュマロを設置する手順を説明します。ここで説明するものは標準的な餌です。アライグマは雑食の為、各地域によって好む餌の種類が違って来る可能性もあります。設置した餌で捕獲が困難な場合は、甘いにおいがする物や、カラアゲなど餌を変えることで捕獲の効果が上がります。

① マシュマロの取り付け方

トリガーの上にマシュマロを落下しないように固定します。下の左図のようにトリガーの突起部分に突き刺すように取り付けてください。



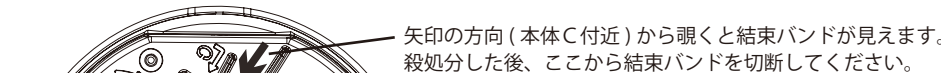
* アライグマの手が奥まで届きやすいようにトリガーの輪の外側寄りに取り付けてください。

B-3

結束バンドの外し方

◆捕獲後、アライグマを運搬する際、アライグマは暗い穴に入る習性があります。本器が付いたまま箱に入れ、逃げない状態にしてから U シャックルを外して移動してください。アライグマを殺処分した後に結束バンドを切ります。（本器は再利用できます。）

●カバーを外して、結束バンドを切断する場合



●カバーを付けた状態で、結束バンドを切断する場合

右図の断面図の様に、角度を付けた状態でカッターを差し込めば、結束バンドを切断する事ができます。

★結束バンドの切断方法は、設置前に事前に確認してください。動物がかかっている状態の場合、簡単に切断する事が出来ない場合がございます。

●生体を本器から外す場合

対象外の動物を捕獲してしまった場合は、動物を傷つけずに、速やかにトラップを外してください。

B-8

外す手順は上記の「カバーを付けた状態で、結束バンドを切断する場合」を参考にしてください。その際、生体がいるため、危険ですので、下図を参考に外してください。作業前に、1m 角ほどの板をご用意ください。



設置後の運用方法

- 一日に一度はアライグマが捕獲できているかの確認をしてください。
- 餌は定期的に入れ替えてください（1 週間に 1 回程度が目安です）。
- 機器のメンテナンスは定期的に行ってください。故障の原因になります。水洗いをした場合には、よく乾燥させてからお使いください。（内部の金属製部品の劣化の原因になります）
- 結束バンドは直接日光に当てたり、高温下での使用は割れやすくなります。結束バンドは乾燥や高温・高湿を避け保管してください。
- 本器の使用は気温が 5 ～ 45℃ の間でご使用してください。（気温が低いと結束バンドが割れることがあります）
- ご使用後は、必ず殺菌性の洗剤で手洗いしてください。